

令和3年度 御幸小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

自ら学び 自他のよさを生かし合いながら たくましく生き抜く児童の育成
【合言葉】 かしこく やさしく たくましく 笑顔いっぱい みゆきっ子
・【確かな学力】 自ら考え学び合う子
・【豊かな心】 自他のよさを認め合う子
・【健やかな体】 健康でねばり強い子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

【めざす学校像】

- ・ 児童が安心して登校し、自ら学び、ともに活動する楽しさを味わえる学校
- ・ 教職員が研修や実践に励み、児童の成長を喜び合える学校
- ・ 学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の学校として誇りに思える学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

～自分でよく考え 未来に向かって たくましく生きる子供の育成～

- (1) 知・徳・体の調和とキャリア教育を核とした特色ある教育課程を編成する。
- (2) 家庭や地域と連携・協働し、安心安全な教育環境づくりや協働的な教育活動の充実に努める。
- (3) 特別支援教育の視点を踏まえ、個に応じた指導を基盤とし、一人一人のよさを認めながら主体的な態度を育む指導の充実に努める。
- (4) 教員の授業力や学級経営力、教職員のICT活用力の向上を図り、チーム力を高める。
- (5) 教育活動の質の向上と校務の効率化を目指し、カリキュラム・マネジメントを推進する。

4 教育課程編成の方針

- ・ 児童の主体的な態度を育むため、キャリア教育との関連を図り、「なりたい自分になるう！みゆきっ子パワーアッププロジェクト」として推進する。その際に、学校全体の共通目標を設定する。

【共通目標】 ・自ら考え学び合う子：聞く・話す
・自他のよさを認め合う子：あいさつ、自他のよさ
・健康でねばり強い子：運動・健康

- ・ 自己肯定感の向上、多様性を認め合う学級集団づくりと主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の双方から学力向上に取り組む。
- ・ 言語活用の充実やICTの活用を進め、授業改善に努めるとともに、社会との関連を図りながら問題発見・解決能力等の育成を図り、学習の基盤としての資質・能力の向上に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校経営

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教職員の資質・能力の向上に努める。
- ・ 家庭や地域との連携・協働活動の充実に努める。

(2) 学習指導

- ・ 学習規律の徹底と基礎・基本の定着を図る。
- ・ 主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業実践を追究する。

(3) 児童指導

- ・ 集団生活マナーの徹底を図る。
- ・ 多様性を認め合える集団づくりに努める。

(4) 健康・体力

- ・ 運動や健康に関心を持ち、自ら進んで健康・体力を高めようとする意欲の向上を図る
- ・ 地域等と連携した児童の安全確保に努めるとともに、危険回避能力の向上を目指す。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価									
目 指 す 児 童 の 姿	<p>A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上</p>	<p>○主体的、対話的で、深い学びの具現化を図る。</p> <p>①「問い・見通し、課題解決、まとめ・振り返り」を基本とした授業実践</p> <p>②自分の考えを見出せる場の工夫</p> <p>③友達と協力して学び合う場の設定</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>93.3</td> <td>90.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>93.3</td> <td>96.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・教職員の達成状況は向上が見られたが、児童の達成状況は下がっている。コロナ禍の中で、話し合い活動など学び合う場の設定に苦慮してきた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・授業は、宇都宮モデルを実践し、分かりやすい授業展開に努める。また、ICT機器を有効活用し、児童が積極的に意見交流できる場を意図的に設け、考えを伝えあうよさや面白さが実感できるような授業や教育的活動の充実を図る。</p>		R 2	R 3	児童	93.3	90.7	教職員	93.3	96.3
		R 2	R 3										
	児童	93.3	90.7										
教職員	93.3	96.3											
<p>A 2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上</p>	<p>○道徳や特別活動を通して自他のよさを認め合い豊かな心の育成を図る。</p> <p>①考え、議論する道徳の授業実践</p> <p>②学級活動、委員会・縦割り班活動、地域との交流活動の充実</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>89.1</td> <td>94.2</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>96.7</td> <td>96.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・指標を上回った。コロナ禍の中で、集会活動はリモート集会等が中心となったが、思いやりの心を育てる活動や働きかけは継続してきた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き今年度の活動を継続していく。</p>		R 2	R 3	児童	89.1	94.2	教職員	96.7	96.3	
	R 2	R 3											
児童	89.1	94.2											
教職員	96.7	96.3											
<p>A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上</p>	<p>○集団生活のルールを守って安全に生活するための実践力の向上を図る。</p> <p>①「みゆきっ子生活スタンダード」の徹底</p> <p>②学年、学級による「きまりやマナー」、生活目標の指導</p> <p>③帰りの会や学級活動等での振り返り</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>84.1</td> <td>85.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>90.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「みゆきっ子生活スタンダード」を柱に、学業指導の充実を図るため、決まりやマナーに対する指導を全校体制で進めてきた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・「みゆきっ子生活スタンダード」と「学習の約束」を一体化させ、ふり返りの時間を月1回程度確保する等、変容をみとることにより、児童への周知を図り、意識して生活できるようにする。</p>		R 2	R 3	児童	84.1	85.7	教職員	90.0	100	
	R 2	R 3											
児童	84.1	85.7											
教職員	90.0	100											

<p>A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上 ・保護者・地域住民の肯定的回答率 80%以上 	<p>○自分からあいさつできる実践力の向上を図る。</p> <p>①学級や児童会によるあいさつ運動の実施（あいさつ週間、ポスター等）</p> <p>②職員からの積極的なあいさつの励行、児童への賞賛</p> <p>③家庭や地域と連携したあいさつ運動の実施</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>92.5</td> <td>90.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>83.3</td> <td>85.2</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>78.8</td> <td>80.1</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100</td> <td>90.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・教職員・保護者からの達成状況は向上が見られたが、児童・地域住民からの達成状況は下がっている。児童主体のあいさつボランティア、地域の見守りボランティア、児童会等と連携した「あいさつ運動」や各学級で考えた「あいさつ標語」の掲示等、年間を通し、あいさつの大切さと励行に取り組んできた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ自体は向上していると思われるが、自分からあいさつができたという意識が低いので、あいさつできている子を称賛するとともに、相手に届く元気なあいさつの推進に継続的に取り組んでいく。 		R 2	R 3	児童	92.5	90.7	教職員	83.3	85.2	保護者	78.8	80.1	地域住民	100	90.0
	R 2	R 3															
児童	92.5	90.7															
教職員	83.3	85.2															
保護者	78.8	80.1															
地域住民	100	90.0															
<p>A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上 	<p>○目標を設定して取り組ませる指導を行う。</p> <p>①児童のよさを認め励ます指導の徹底</p> <p>②学期や年間の個人目標や学級目標の設定と振り返り</p> <p>③学年ごとの設定目標やステップアップシート（年5回）の実施</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>88.3</td> <td>89.0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>93.3</td> <td>96.3</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>80.0</td> <td>81.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・保護者の達成状況が数値指標の 85%に届かなかったものの数値は前年度よりも向上している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学年ごとの目標」を明確にするとともに、学期や年間の個人目標や学級目標の振り返りの部分を強化し、保護者への通知、理解を図る。 		R 2	R 3	児童	88.3	89.0	教職員	93.3	96.3	保護者	80.0	81.4			
	R 2	R 3															
児童	88.3	89.0															
教職員	93.3	96.3															
保護者	80.0	81.4															
<p>A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 90%以上 	<p>○健康・運動への意欲の向上を図る。</p> <p>①外遊びの推奨</p> <p>②家庭と連携した健康への意識の高揚</p> <p>○望ましい食習慣づくりを推進する。</p> <p>①おにぎりの日の実施</p> <p>②栄養士と連携した給食指導の充実</p> <p>○安全意識の向上を図る</p> <p>①避難訓練や交通安全教室を通じた対応力や危険回避能力の育成</p> <p>②一斉下校時の指導の充実</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>91.5</td> <td>91.8</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>92.6</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89.8</td> <td>90.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・指標を上回ったが、教職員の数値が前年度より下がっている。学校生活全般における感染予防に重点をおき取り組んできたが、1月に入り、コロナ陽性者が続出し、臨時休業等、対応に苦慮してきた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲の向上①の文言を「外遊びの推奨」とし、運動委員会等の活動を生かし呼びかけを図る。 ・望ましい食習慣づくりの推進②の文言を「栄養士と連携した食育指導の充実」とし、給食以外の場面での連携を図り、食育についての指導を充実させる。 		R 2	R 3	児童	91.5	91.8	教職員	100	92.6	保護者	89.8	90.2			
	R 2	R 3															
児童	91.5	91.8															
教職員	100	92.6															
保護者	89.8	90.2															

<p>A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるように努力している。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上 	<p>○キャリア教育や特別活動の充実に努める。</p> <p>①道徳や特別活動を通じた自己肯定感の育成</p> <p>②出前授業や見学・体験学習の充実</p> <p>③家庭と連携したキャリアパスポートの蓄積</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>88.3</td> <td>89.0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>93.3</td> <td>96.3</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>80.0</td> <td>81.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・保護者の達成状況が数値指標の 85%を下回っているものの数値は前年度よりも向上している。学校教育目標達成の柱となる「みゆきっ子パワーアッププロジェクト」を推進し、行事や活動ごとに児童一人一人に目標設定と振り返りをさせ、めあてをもって取り組む意義と自己達成感を実感できるよう、取組方の工夫を実践してきた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科等とキャリア教育と関連付け、キャリアパスポートを活用し、家庭と連携し推進していく。 「生活科」や「総合的な学習の時間」の内容の見直しを図る。 図書室とタブレットを利用し仕事を知る機会を増やす。 		R 2	R 3	児童	88.3	89.0	教職員	93.3	96.3	保護者	80.0	81.4
	R 2	R 3												
児童	88.3	89.0												
教職員	93.3	96.3												
保護者	80.0	81.4												
<p>A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員の肯定的回答率 85%以上 	<p>○英語に親しみ積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育てる。</p> <p>①ALT と連携した授業の充実</p> <p>②英語に親しむ環境整備</p> <p>③日常生活における ALT との交流機会の充実</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>85.8</td> <td>89.3</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>90.0</td> <td>88.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童・教職員とも目標数値を上回っているが、教職員の肯定的回答は微減した。ALT は授業のみならず、休み時間の遊びや清掃活動等でも児童と関り、コミュニケーションの場を広げてきた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症予防のため、授業中の会話の機会も制約せざるを得ない状況もあり、教職員の認識としては数値の減少が見られたと思われる。コロナ禍の中での言語活動の形態を工夫しながら、授業の充実に努めていく。 		R 2	R 3	児童	85.8	89.3	教職員	90.0	88.9			
	R 2	R 3												
児童	85.8	89.3												
教職員	90.0	88.9												
<p>A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者の肯定的回答率 80%以上 	<p>○教科や総合的な学習の時間で、御幸地区や宇都宮の特長を考えさせる指導に努める。</p> <p>①宇都宮学の確実な実施</p> <p>②地域の歴史や文化、食などの地域資源や人材を生かした教育活動の充実</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>77.6</td> <td>81.9</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>70.0</td> <td>92.6</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>60.4</td> <td>66.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・3階ギャラリーに宇都宮学コーナーを設け、掲示物等を充実させたことが、児童の興味・関心を高めることにつながった。感染症予防のため、授業参観をはじめとする来校の機会が減ったことも一因となり、子供たちの取組の様子を十分に保護者に伝えきれなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇都宮学担当職員を中心に掲示物を定期的に貼り換えたり、社会や総合的な学習等で宇都宮のよさにふれる授業を積極的に展開したりしていく。 		R 2	R 3	児童	77.6	81.9	教職員	70.0	92.6	保護者	60.4	66.2
	R 2	R 3												
児童	77.6	81.9												
教職員	70.0	92.6												
保護者	60.4	66.2												

<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率85%以上</p>	<p>○積極的に活用した学習機会の充実に努める。</p> <p>①学年や教科に応じた効果的な活用 ②児童の情報活用能力の育成 ③図書室の活用と図書館司書との連携</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>81.3</td> <td>88.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>96.7</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>75.9</td> <td>90.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童・教職員・保護者とも達成状況は向上している。年度初めの授業参観では親子でタブレットの操作を学習していただくなど、学校全体でICT活用の日常化に取り組むことができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・図書館司書と連携を図り、調べ学習に必要な図書資料を準備したり、資料の活用の仕方について支援したりしていく。 ・調べ学習だけでなく、一人一人の考えを理解したり、伝え合ったりする活動においてもICT機器を効果的に活用していく。</p>		R 2	R 3	児童	81.3	88.7	教職員	96.7	100	保護者	75.9	90.8
	R 2	R 3												
児童	81.3	88.7												
教職員	96.7	100												
保護者	75.9	90.8												
<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率90%以上</p>	<p>○高齢者への思いやりや交流機会の充実に努める。</p> <p>①教科や道徳での指導の充実 ②学校行事等での交流</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>89.1</td> <td>94.2</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>96.7</td> <td>96.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・交流会は中止となったが、教育活動全体を通して思いやりの気持ちを育んできた。</p> <p>【次年度の方針】 ・コロナ禍の中で、感染対策を講じながら交流できる方法を模索しながら、全学年で満遍なく交流の機会を確保できるよう取り組んでいく。</p>		R 2	R 3	児童	89.1	94.2	教職員	96.7	96.3			
	R 2	R 3												
児童	89.1	94.2												
教職員	96.7	96.3												
<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率85%以上</p>	<p>○学年に応じて環境や平和など、持続可能な社会との関連を考える機会を設ける。</p> <p>①教科や総合的な学習の時間のテーマとの関連 ②校内掲示や各種たより等での啓発</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>86.8</td> <td>90.4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>66.7</td> <td>77.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>・SDGsをはじめとする掲示物など環境の充実が図られ、学習や生活の中で環境学習を意識する機会が増えた。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き図書資料や校内掲示の充実を図り、環境や平和に関する事柄に触れたり、持続可能な社会について考えたりできる機会を増やす</p>		R 2	R 3	児童	86.8	90.4	教職員	66.7	77.8			
	R 2	R 3												
児童	86.8	90.4												
教職員	66.7	77.8												
<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率90%以上</p>	<p>○児童の実態の把握と個に応じた指導の充実に努める。</p> <p>①日頃からの児童に係る情報共有 ②特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援委員会やケース会議等での組織的な対応 ③保護者や関係機関との連携</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>96.7</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・校内支援委員会やケース会議等を軸に、組織で情報の共有を図り、児童の実態に応じて対応することができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・次年度も引き続き、全教職員が共感的理解に基づく指導ができるよう、校内研修等を通して指導力の向上に努めていく。</p>		R 2	R 3	教職員	96.7	100						
	R 2	R 3												
教職員	96.7	100												

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答率 90%以上 	<p>○いじめ防止への意識の高揚と適切な対応に努める。</p> <p>①「いじめ」をテーマにした道徳の授業 ②学校・学年だよりによる情報発信 ③委員会でのいじめ防止集会等の実施 ④いじめ0標語やポスター制作・掲示 ⑤教育相談やアンケート（年4回）実施 ⑥保護者の考えるいじめ0標語の募集・掲示</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>97.0</td> <td>96.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>96.7</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>84.9</td> <td>81.9</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>92.9</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・いじめ防止については、道徳や学級活動で取り上げ、児童会による呼びかけなど児童からの働きかけもあり、教職員や児童が連携して取り組んだが、保護者の肯定的回答は昨年度よりも低くなった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止への意識の高揚につながる活動を充実させる。 ・「思いやり」「協力」「団結」「あいさつ」等、いじめ防止につながる活動をすべての委員会を実施していく。（内容の見直しを図る） 		R 2	R 3	児童	97.0	96.7	教職員	96.7	100	保護者	84.9	81.9	地域住民	92.9	100
		R 2	R 3															
	児童	97.0	96.7															
教職員	96.7	100																
保護者	84.9	81.9																
地域住民	92.9	100																
<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上 	<p>○児童の実態の把握と児童の自己肯定感の向上に努める。</p> <p>①Q - Uや教育相談の結果を生かした不登校傾向の早期発見や早期対応 ②児童のよさを認め励ます指導の充実</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>96.0</td> <td>96.2</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>93.3</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88.0</td> <td>92.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・指標を上回った。職員間の情報交換が生かされ、早期発見の対応に努めた。不登校については、不登校傾向が見られた時点から早期に保護者と連絡を取り合うなどの対応に努めている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、定期的なQ Uや教育相談を実施し、児童の状況を把握しながら対応に努めた。 ・さらに情報交換を密にし、学校全体で児童の実態の把握に努める。 		R 2	R 3	児童	96.0	96.2	教職員	93.3	100	保護者	88.0	92.3				
	R 2	R 3																
児童	96.0	96.2																
教職員	93.3	100																
保護者	88.0	92.3																
<p>A16 教職員は、外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答率 90%以上 	<p>○外国人児童に必要な支援の在り方を共有し指導にあたる。</p> <p>①学級担任と外国語指導教員との連携 ②保護者とのコミュニケーションによる信頼関係の構築</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>96.7</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・達成状況は100%となっている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、学級担任・外国語指導教員が保護者と連携を図りながら、児童の実態に応じて適切な支援をしていく。 		R 2	R 3	教職員	96.7	100										
	R 2	R 3																
教職員	96.7	100																

<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・保護者の肯定的回答率 90%以上 	<p>○児童のよさを認めたり児童の主体的な活動の充実に努めたりする。</p> <p>①児童のよさへの積極的な賞賛</p> <p>②各種委員会、児童会、縦割り班等で児童を主体とした活動の充実</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>86.6</td> <td>88.5</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88.1</td> <td>91.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童の数値は数値指標には届かなかったが、前年度と比較すると、児童、保護者共に向上した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、限られた機会の中ではあったが、児童は学習や遊び、学校生活全般に明るくいいきと取り組む姿が見られている。児童一人一人に寄り添いながら、次年度も継続した取り組みを実践していく。 		R 2	R 3	児童	86.6	88.5	保護者	88.1	91.5
	R 2	R 3									
児童	86.6	88.5									
保護者	88.1	91.5									
<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・保護者の肯定的回答率 90%以上 	<p>○授業のねらいや手立てを明確にし、個に応じた指導の充実に努める。</p> <p>①教材研究と個々の実態に即した支援の工夫</p> <p>②習熟度別学習、少人数指導の充実</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>96.0</td> <td>96.4</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>84.0</td> <td>85.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>・保護者の肯定的回答は数値指標には届かなかったが、達成状況は微増となった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かがやきルーム担当教員、少人数指導担当教員と連携を取りながら、支援が必要な児童の特性に合わせた指導を行っていく。 ・習熟度別学習や T.T 学習が効果的に実施できるよう、ICT教材の活用や授業力向上の研修、個別の支援や手立てなど、全校体制で研修に取り組み、きめ細やかな指導を充実させていく。 		R 2	R 3	児童	96.0	96.4	保護者	84.0	85.8
	R 2	R 3									
児童	96.0	96.4									
保護者	84.0	85.8									
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答率 90%以上 	<p>○教職員の良好な人間関係作りに努め、組織力の向上を図る。</p> <p>①教職員間の情報共有と風通しのよい職場環境づくり</p> <p>②多様な専門性を有するスタッフとの連携協力</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>93.3</td> <td>96.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・職員間のコミュニケーションを大切にしたり、OJTの研修の充実に図ったりすることができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護や栄養、司書等の専門的な立場の職員と連携を図って授業作りを進めるなど、更なる体制づくりを整えていく。 		R 2	R 3	教職員	93.3	96.3			
	R 2	R 3									
教職員	93.3	96.3									

<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答率 85%以上 	<p>○学校の運営の見直しや行事等の実施方法の改善を行う。</p> <p>①会議や打合せの効率化、行事の精選 ②ネットワークシステムの活用など効率的な職務執行 ③リフレッシュウィーク（月1回）実施</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>76.7</td> <td>55.6</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・総合訪問の準備や前倒しとなるタブレット導入への対応等で業務過多の状況が発生した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを校務に有効に活用し、効率化を図っていく。また、校務分掌の見直しを図り、チームを組んで仕事を進めるなど教育現場での働き方改革（業務改善）に取り組んでいく。 		R 2	R 3	教職員	76.7	55.6			
	R 2	R 3									
教職員	76.7	55.6									
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上 	<p>○小中一貫・地域学校園の取組を効果的に実施する。</p> <p>①あいさつ運動、乗り入れ授業等の実施 ②学校だよりやHPでの情報発信</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>93.3</td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>75.8</td> <td>77.1</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、小中一貫での協議の場や連携した取組の実施が困難であった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況を見ながら、継続したあいさつ運動や、乗り入れ授業を実施する。 ・今年度同様HPでの情報発信を継続して行う。 		R 2	R 3	教職員	93.3	66.7	保護者	75.8	77.1
	R 2	R 3									
教職員	93.3	66.7									
保護者	75.8	77.1									
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域住民の肯定的回答率 90%以上。 	<p>○地域協議会と連携・協働し、教育活動の充実に努める。</p> <p>①地域資源を活用した活動の充実 ②地域協議会コーディネーターとの連携やボランティア活動の新規拡充 ③各種便りやHPなどでの情報発信</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>86.6</td> <td>88.7</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>92.9</td> <td>90.9</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会コーディネーターとの連携を図って教育活動を進めることができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ボランティアの活動を見直したり拡充したりして、より充実した人材・施設の活用を図っていく。 		R 2	R 3	保護者	86.6	88.7	地域住民	92.9	90.9
	R 2	R 3									
保護者	86.6	88.7									
地域住民	92.9	90.9									
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上 	<p>○地域の人材や企業と連携した教育活動の充実</p> <p>①生活科、総合的な学習の時間、社会科等における校外学習や出前授業等、 ②あいさつ運動等、地域と連携した活動の実施</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>86.6</td> <td>88.7</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>92.9</td> <td>90.9</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域や企業と連携した活動を実施することがあまりできなかった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて、可能な範囲で地域や企業と連携した教育活動の実施を図る。 		R 2	R 3	保護者	86.6	88.7	地域住民	92.9	90.9
	R 2	R 3									
保護者	86.6	88.7									
地域住民	92.9	90.9									

本校の特色・課題等	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域住民の肯定的回答率 90%以上 	<p>○安心・安全な環境づくりに努める。</p> <p>①毎月の安全点検等での危険箇所や修繕箇所の把握及び迅速な対応</p> <p>②修繕箇所の把握と計画的な修繕</p> <p>③構内での安全確保に関する情報提供や注意喚起</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>87.7</td> <td>90.8</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・施設設備の安全点検により、修繕箇所・危険個所の早期発見や早期改善を適切に行うことができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次年度も引き続き、日々の確認や定期的な安全点検を確実にやっていく。 		R 2	R 3	保護者	87.7	90.8	地域住民	100	100
		R 2	R 3										
	保護者	87.7	90.8										
	地域住民	100	100										
<p>A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員の肯定的回答率 85%以上 	<p>○機器や図書の整理、確認及び有効活用を図る。</p> <p>①定期的な点検や整備の実施</p> <p>②効果的な I C T 活用や図書活用に係る研修の実施</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>96.7</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・教職員の達成状況は 100%となっている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> I C T 機器や図書資料について、学習の場面で効果的に活用できる様々な取組を実践していく。 I C T 機能を高めるため、周辺機器の整備とともに、有効に活用するための研修の充実を図る。 		R 2	R 3	教職員	96.7	100				
	R 2	R 3											
教職員	96.7	100											
<p>B1 児童は、授業中や集会等に教師や友達の話に耳を傾け、しっかりと聞いている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員の肯定的回答率 90%以上 	<p>○授業中や集会等では、学年に応じた聞き方を指導する。</p> <p>低学年：友達の考えを聞く</p> <p>中学年：友達の考えをうなずきながら聞く。</p> <p>高学年：友達の考えを比べながら聞く。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>91.8</td> <td>92.6</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・感染症対応で校内放送が主だったが、よく聞く姿勢が身に付いている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団生活の中で基本的な話の聞き方の定着を図る。みゆきっ子学習の約束を意識した生活ができるようにする。 		R 2	R 3	児童	91.8	92.6	教職員	100	100	
	R 2	R 3											
児童	91.8	92.6											
教職員	100	100											
<p>B2 児童は、授業中や集会等に、自分の考えを話すことができる。</p> <p>【数値指標】 新規</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員の肯定的回答率 90%以上 	<p>○授業中や集会等では、学年に応じた話し方を指導する。</p> <p>低学年：自分の考えを話す。</p> <p>中学年：自分の考えを進んで話す。</p> <p>高学年：自分の考えを進んで話す。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td></td> <td>67.9</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td></td> <td>92.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・マスクをしているということもあり、自分から進んで話すことができなかったことが考えられる。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝のスピーチやペア・グループ学習を進んで行うなど、人前で話す機会を意図的に設けていく。また、話しやすい学級の雰囲気作りにも努めていく。 児童会活動では、Meet を活用して積極的に全校生に発信できるようにしていく。 		R 2	R 3	児童		67.9	教職員		92.6	
	R 2	R 3											
児童		67.9											
教職員		92.6											

<p>B 3 児童は自分のよさを理解し、より伸ばそうとしている。</p> <p>【数値指標】新規 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>○児童のよさを認め励ます指導の充実に努めたり、互いのよさを認め合う機会の充実に努め、個々の自己肯定感の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td></td> <td>76.4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td></td> <td>93.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童の肯定的回答は目標値を下回ったが、教職員と保護者はいずれも90%以上の高い数値となった。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校経営の柱として本年度進めてきた「なりたい自分になるう みゆきっ子パワーアッププロジェクト」の取組が徐々に浸透してきたものと思われる。学年学級の活動や行事ごとに個々の目標を設定し、自己評価をしていくスタイルを、通年で継続的に続けてきたことが評価されたと考える。来年度につながるよう継続的な取組を進めていく。</p>		R 2	R 3	児童		76.4	教職員		100	保護者		93.5
	R 2	R 3												
児童		76.4												
教職員		100												
保護者		93.5												
<p>B 4 学校は読書活動を積極的に推進している。</p> <p>【数値指標】 ・教職員・保護者の肯定的回答率90%以上</p>	<p>○図書室利用を活性化するため、多様なジャンルの本に触れる機会をつくる。 ・司書によるブックトークやボランティアによるお話し ・各種イベントの実施</p> <p>○読書ファイルの活用や学年だより、図書だより等での呼びかけで、家庭での読書を奨励する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>90.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89.8</td> <td>90.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・保護者の肯定的回答は微増し、目標値を超えている。</p> <p>【次年度の方針】 ・本とのふれ合いを増やすため、「図書おみくじ」や「チャレンジブック」、「お年賀ブック」など、季節ごとに様々な企画を立て、図書だよりで家庭に発信するなど意欲的に取り組んできたことが評価の要因と考えられる。次年度も引き続き、児童に親しみやすい企画を展開していく。 ・次年度は、児童の肯定的回答率も評価に加えていく。</p>		R 2	R 3	児童	90.3		教職員	100	100	保護者	89.8	90.5
	R 2	R 3												
児童	90.3													
教職員	100	100												
保護者	89.8	90.5												
<p>B 5 児童は、ステップアップシートや朝の学習タイムに積極的に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ・児童・保護者の肯定的回答率85%以上</p>	<p>○ステップアップシートや朝の学習タイムを活用して、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ・年5回ステップアップシートに向けて自主的に学習に取り組めるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>90.5</td> <td>80.5</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88.2</td> <td>87.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童・保護者共に微減している。</p> <p>【次年度の方針】 ・年度当初活用をしていたステップアップシートからA I ドリルへ使用頻度が移行してきている。今後はさらにA I ドリルやスクールタクトなどタブレットを使った学習形態に変えていく必要がある。</p>		R 2	R 3	児童	90.5	80.5	保護者	88.2	87.2			
	R 2	R 3												
児童	90.5	80.5												
保護者	88.2	87.2												

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印、または下線を付ける。

1 めざす児童像の姿（A1～A12）

- ・本校児童は、A1の「進んで学習に取り組む態度」やA2の「思いやりの気持ち」などで90%を超える肯定的回答率となっており、望ましい状況が保たれている。
- A4の「時と場に応じたあいさつ」については、児童一人一人はあいさつをしていると思っているが、実際には会釈で終わってしまったたり、特定の相手だけのあいさつになっていたりなど、しっかりとしたあいさつに至っていないケースが多いことから、4者（児童・教職員・保護者・地域住民）の肯定率に開きが見られる。相手に届かなくてはあいさつの意味がないことを児童に理解させながら、今後も家庭や地域と連携して取り組む必要性を感じる。
- ・A9の「宇都宮の良さを知っている」では、校内に「宇都宮学コーナー」を設置し、児童に宇都宮市の魅力を発信する機会を増やし、A10の「ICT機器の活用」については、4月の「親子タブレット講座（授業参観）」を皮切りに、年度当初から全校体制でICT機器の活用を積極的に推進してきた。これらの取組が児童の肯定的回答率の上昇につながっていると思われる。これらの活動を今後も継続し、保護者・地域にも情報発信していくことで周囲の理解を深めていきたい。A12の「持続可能な社会への関心等」については、年度初めからSDGsを紹介する掲示物の作成等で児童の興味関心を高めてきたところに、国内でもテレビCMや企業の参入等、国内での機運も盛り上がり、子どもたちも身近な問題として捉えるようになってきた。今後も、様々な場面で効果的に取り組んでいきたい。

2 めざす教職員・学校像の姿（A13～A25）

- ・A14の「いじめ」やA15の「不登校」への対応については、道徳や学級活動等で取り上げたり、おたよりで家庭や地域に発信したりしてきた。今後も保護者との連携を図りながら、相談体制の充実や児童の自己肯定感・自己有用感の育成に取り組んでいく。
- ・A17の「学校の活気」については、コロナ禍での行事の縮小や中止、縦割活動の制限等、厳しい状況にあったが、安心・安全な教育環境を保持しつつ、児童一人一人の関りや達成感が得られるような学校行事の在り方を工夫していく。
- ・A20の「勤務管理」については、総合訪問（教育委員会の査察）やコロナ禍で前倒しとなったタブレットの導入により教職員への負担が増大し、教職員の肯定的回答が低下した。本年度の反省を、次年度の働き方改革に生かしていく。
- ・A21の「地域学校園」、A22の「地域の教育力等を生かした教育活動」については、感染症予防の観点から、十分に取組むことができなかった。次年度はよりよい活動になるよう内容を検討するとともに、情報発信に努める。

3 本校の特色

- ・B1の「耳を傾け、話をしっかり聞く」についての児童の肯定的回答率は極めて高いが、B2の「自分から考えて話す」や、B3の「自分のよさを理解し、伸ばそうとしている」では自信の持てない児童が多くみられる。引き続き「みゆきっ子パワーアッププロジェクト」を推進し、言語活動の充実や自己肯定感の醸成に取り組んでいく。

7 学校関係者評価

【保護者】

- ・中学校進学を機に、不登校になるケースが多いようである。不登校の子が減るように根本的な働きかけをお願いしたい。
- ・登下校時の安全な交通マナーについてももう少し指導してほしい。
- ・生活の基本であるあいさつは、先生方が率先して、あいさつや元気を発信しつつ、児童へしっかりと指導してほしい。
- ・全体に盛り上がりがあり、授業や休み時間など楽しい学校にして欲しい。
- ・タブレットの持ち帰りに伴い、学校での様子がわかる方法や、ドリル以外で授業の補助ができる方法を検討してほしい。

【地域住民】

- ・学校がとても明るくなってきて、子供達も笑顔が増えたのかなと感じる。
- ・久しぶりに学校を見学したが全体的に明るく、整理されていて良かった。掲示物などが校内にあふれていてすてきだった。
- ・御幸小HPの更新頻度が多く、学校の教育活動等の情報が良くわかる。発信力があり、継続して欲しい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印、または下線を付ける。

新型コロナウイルス感染予防をはじめ、児童の安全を最優先させつつ、以下の内容の充実に取り組んでいく。

- ・家庭や地域、鬼怒地域学校園と連携しながら教育活動の充実を努めるとともに、児童と向き合う時間の確保を目指し、今後も行事の精選・効率化や働き方改革を進めていく。
- ・教育活動全体を通して宮・未来キャリア教育との関連を図り、なりたい自分を目指して自分のよさに気付いたり、より主体的に学習や生活に取り組んだりする態度の育成に努める。ポートフォリオによる振り返りの蓄積で、児童一人一人が事故の成長を実感できるよう支援と取組の工夫に努める。
- ・学習指導については、ICT教材の活用法を探りながら、深い学びに不可欠な言語活動の強化や教材研究、授業改善に取り組む。学校生活においては、安心して意見を伝え合える学級づくりに一層力を入れていく。
- ・少人数指導や習熟度別学習を生かし、学習面で悩みを抱える児童への個別支援に努める。個に応じた補助教材の提供や支援など、家庭学習の習慣化等に、家庭と連携しながら取り組み、基礎学力の定着を図っていく。
- ・児童指導については、道徳や特別活動等を通して主体的な実践力の育成に努めるとともに、様々な機会を捉えてお互いを理解し合いながら、多様性を認め合う集団づくりに努める。
- ・健康・体力については、体育や学級活動を通して感染症に係る正しい理解を深めるとともに、体力の増強や危険予測・回避能力の向上に努める。